

検定農家への情報提供
(増刊)牛群検定通信 No.84

家畜改良事業団
 T03-5621-8921

新年明けましておめでとうございます。
 本年もよろしくお祈りいたします。



本年もいろいろな情報をドンドン発信しますので
 どうぞよろしくお祈りいたします。

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 デーリイ・ジャパン 1月号 デーリイ・ジャパン社
 「繁殖台帳Webシステム”ポケカウ”」
 気象情報カウダスやスマートフォンを利用した牛群検定データの活用
- 2 家畜人工授精 1月号 (一社)日本家畜人工授精師協会
 最近の乳用牛群検定成績から その3
 牛群検定からみた分娩および子牛生産状況について
- 3 全酪新報 1月1日号 全国酪農協会
 牛群検定ワンポイントレッスンその55 スマホで確認、便利な「ポケカウ」
 スマートフォンを利用した牛群検定データの活用
- 4 LIAJニュース11月号 (一社)家畜改良事業団
 新しい牛群検定成績表について(その51)
 年間子牛生産状況について②
 子牛関係の技術指導のポイントを紹介。

[検定成績表見方](#) | [検索](#)

冬は風邪と下痢に注意しましょう！

改善が必要な検定成績の見本 冬季での検定

牛コード	分 娩			搾乳又は乳乾日数	乳 量 (kg)						
	年月日	産次	性別		今 月	標 準	前 月	前々月			
0121	270906	1	♀	1	166	9.0	12.0	21.0	24.4	23.0	23.2
0017	270903	2	♂	1	169	17.2	10.4	▼27.6		34.6	37.8
0063	270825	3	♂	1	178	12.4	8.4	▼20.8	3	24.2	▼25.6
0120	270824	1	♀	1	179	6.0	8.0	▼14.0	5.8	26.6	24.0
0106	270811	2	♀	1	192	11.0	13.5	24.6	27.9	▼24.0	28.0
0003	270723	3	死産	1	211	14.0	15.0	▼29.0	32.9	35.0	▼37.4
0119	270721	1	♀	1	213	15.0	9.5	▼24.6	30.3	30.8	31.4
0118	270718	1	♀	1	216	14.0	10.0	▼24.0	29.6	31.0	30.0
0093	270619	2	♀	1	245	10.0	18.0	28.0	35.2	22.6	23.0
0074	270608	3	♀	1	256	8.0	8.0	▼16.0	22.7	▼20.0	22.4
0031	270530	2	♀	1	265	14.6	13.4	▼28.0	36.7	36.0	39.2
0098	270429	2	♀	1	296	13.0	12.8	25.8	36.2	26.8	29.0

乳量減少の記号 (それぞれ前月と比較)
 ▼: 10~20%減少 ▼: 20~40%減少 ▼: 40%以上減少 ※: 分娩後60日以内に減少

1 検定成績表のチェック！

乳牛は寒さに強いと言われていますが、それでも冬はやはり風邪(呼吸器病)や下痢(消化器病)に気をつけなければなりません。検定成績表でチェックしましょう。

乳量の減少は、図示した通り前月との比較で記号で示されます。冬季に気をつけたいパターンは、タテに大小の三角が並んだときです。楕円で囲んだようにタテに大小の三角が並んだときは、牛群全体でのトラブルが考えられます。給水器の凍結から水が飲めていない、寒冷ストレスから飼料の消化吸収が低下している、搾乳機器の不調等が考えられます。

もうひとつ大事な確認事項として、病気の蔓延があります。特に、冬季特有の病気が流行しやすい季節なので、注意が必要です。

2 冬季の病気の症状

冬季の牛の病気は、寒冷ストレスに合わせウイルスや細菌など様々な要因により発生します。呼吸器に症状の現れるものでは、RSウイルスやマイコプラズマ等が知られています。また、消化器に下痢の症状の現れるものでは、コロナウイルス等が知られています。これらは集団で蔓延しやすく、乳量を大幅に減少させる経済的に損失の大きな病気です。いずれにせよ、検定成績表で図のように乳量減少を示す牛が続出した場合は、緊急的に牛舎の牛を観察してください。発熱、下痢、咳、流涎、流涙、鼻水などの症状が出ていないか、特に子牛に蔓延しやすい病気ですので、子牛の観察も忘れずに行ってください。肺炎を併発して死亡してしまう子牛も珍しくありません。回復したとしても、発育に影響することが多く、発育不足から初産時の低乳量に繋がります。

牛舎の牛を観察し、ここにあげたような症状が成牛や子牛に蔓延している場合は、獣医師に相談するようにしてください。

まだ間に合います！牛群検定関係研修会！奮ってご参加を！

検定農家をはじめ、酪農関係者は誰でも無料で参加できます！

1 牛群検定指導者研修会（乳用牛群飼養管理技術向上対策事業）

牛群検定の指導者を対象とした研修会

主な内容

- ・家畜改良センター 大澤剛史 係長
「改良情報の有効活用について」
- ・大山乳業農業協同組合 今吉正登 課長
「鳥取県における牛群検定を用いた指導事例」
- ・みなみ北海道農業共済組合石狩支所 安藤達哉 次長
「乳牛における繁殖管理の現状と課題に向けた牛群検定成績の活用」
- ・牛群検定の活用 他
- ・愛知県畜産総合センター 鈴木善光 主任
「愛知県内における牛群検定の活用状況」

日 時：平成30年2月20～21日 愛知県岡崎市 60名程度

2 牛群検定濃密研修会（酪農経営支援総合対策事業 乳用牛能力向上事業：遺伝的能力向上対策）

検定牛群検定の担当者を対象とした研修会。なお、優秀検定員表彰とブロック会議をあわせて開催する

主な内容

- ・京都府農林水産技術センター 岩崎方子 技師
「京都府における牛群検定」
- ・きくち酪農コンサルティング株式会社 菊地実 代表
「牛群検定データの活用」

日 時：平成30年2月15日 福岡県福岡市
平成30年2月22日 栃木県宇都宮市
(両会場とも翌日に牛群検定推進ブロック会議を開催します)

桜の開花予測？積算温度の活用

牛群検定活用システムである繁殖台帳Webシステムで利用できる牛群検定気象情報「カウダス」には、桜の開花予測によく使われる「積算温度」機能が搭載されています。

まだまだ、寒い時期が続きますが、暦の上では「新春」です。桜の季節もうじきです。さて、桜の開花は、「田植え桜」「種まき桜」等とよばれる農作業の目安の時期として大切な役割があります。

桜の開花は、一般的には2月1日を基準として、積算温度が400度を越えたときに開花すると言われていています。カウダスを利用すると、任意に積算温度を計算できます。カウダスを使って昨年実績で積算温度が400度を越えた日を計算してみましょう。きっと、あなたの地域の桜が開花した時期のはずです。そして、今年の2月1日以降の積算温度をカウダスで観測していけば、開花予測も可能です。繁殖台帳Webシステムのカウダスは地域密着型なので、お近くの公園の桜についても活用できます。学生のみなさんは、校庭に植えてある桜の開花予測にチャレンジしてみませんか？

積算温度とは？

1日の平均気温から基準温度（上述では0度）を引いて、基準日（上述では2月1日）以降を足し算したものです。基準温度に達しない日は足し算しません。農業分野での応用性は広く、水稻の種籾の発芽予測、飼料トウモロコシや飼料稲の刈取時期等の栽培計画にも利用されています。

< 計算例 >

2月1日 平均気温 5度
2月2日 平均気温 8度
2月3日 平均気温 -2度
2月4日 平均気温 0度

4日間の積算温度＝

$$(5 - 0) + (8 - 0) + (0 - 0) = 13度$$

※なお、平均気温とは24時間の気温の平均なので、通常の温度計では計算できません。

